

# 令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

当財団は、美術・音楽を中心とした芸術の分野における諸活動に対し助成及び顕彰を行うとともに、優れた芸術文化活動の鑑賞機会を四国地域に提供すること等により、四国地域における芸術文化の振興を図り、我が国の文化の向上・発展に寄与することを目的に事業を行っている。

令和2年度の事業は以下のとおりである。

## I. 事業の状況

### 1. 奨学援助事業

四国出身の芸術家を養成するため、四国出身で国内の芸術系大学に在学し、所定の要件に適合する者として大学から推薦された下記8人について、選考委員会での審議の後、理事会において令和2年度奨学生として決定した。

8月3日、高松市において、令和2年度新規奨学生との懇談会を開催した。

氏名	大学 (出身高校)	学年	専攻	出身
あきぐち なお 明口 奈央	東京音楽大学 (東京音大付属高)	4年	器楽 (ピアノ)	徳島県 小松島市
うえた かんと 植田 寛人	武蔵野音楽大学 (高松第一高)	4年	器楽 (ピアノ)	香川県 高松市
かつた ことみ 勝田 琴美	国立音楽大学 (善通寺第一高)	4年	声楽 (ソプラノ)	香川県 丸亀市
くぼ まき 久保 真希	東京藝術大学 (松山東高)	4年	器楽 (ピアノ)	愛媛県 松山市
ひらた ななこ 平田 奈夏子	京都市立芸術大学 (高松第一高)	4年	器楽 (ピアノ)	香川県 宇多津町
くまくら まい 熊倉 舞	多摩美術大学 (城北高)	4年	美術 (日本画)	徳島県 鳴門市
まつおか ひなこ 松岡 日菜子	京都市立芸術大学 (岡豊高)	修士 2年	美術研究 (油画)	高知県 南国市
みよし ももか 三好 桃加	東京藝術大学 (高松工芸高)	修士 1年	美術研究 (彫刻)	香川県 善通寺市

(注) 継続者5名を含む奨学生数は13名。

## 2. 顕彰事業

四国出身または四国在住の優れた芸術家、もしくは四国地域の芸術文化の振興に多大の貢献をされた者を顕彰するため、所定の賞に該当する者として、四国4県の文化振興担当個所などの推薦依頼機関から推薦された下記3人について、選考委員会での審議の後、理事会において令和2年度顕彰者として決定した。

9月10日、令和2年度顕彰者の表彰式を高松市において行った。

賞名	氏名	出身・在住
よんでん芸術文化賞	<small>すみだ かずお</small> 角田 和夫 (写真家)	高知県
よんでん芸術文化奨励賞	<small>おか あきひろ</small> 岡 昭宏 (声楽家)	香川県
よんでん芸術文化奨励賞	<small>やまだ あやか</small> 山田 彩加 (画家・版画家)	愛媛県

## 3. 主催事業

奨学生の日頃の努力・研鑽の成果発表と、地域の皆さまへ芸術鑑賞の機会を提供する場として、下記の美術展を開催した。

### ○第9回財団奨学生と顕彰者による美術展 ～ART ENERGY FROM SHIKOKU～

高松市において、美術展を下記のとおり開催した。

月 日	令和2年9月11日(金)～9月22日(火・祝)
会 場	香川県文化会館 1階漆芸ホール、2～3階県民ギャラリー
来場者数	1,537人
出展者	37名(奨学生26名 顕彰者11名) 出展作品77点

なお、「第25回ふるさとコンサート」を下記のとおり計画していたが、コロナ禍の影響により中止(令和3年度に延期)した。

### ○ふるさとコンサート

月 日	7月15日(水) 18:30～20:30
場 所	レクザムホール 大ホール
出演者	高市 紀子 木管六重奏(アルトフルート) 山本拓夫 木管六重奏アンサンブル ハロクライン 安川 みく(ソプラノ) 藤本 直樹(ユーフォニアム) 鐵 百合奈(ピアノ)

#### 4. 派遣助成事業

##### (1) 公共施設等への演奏家派遣

四国内の公共施設等に優れた演奏家を派遣し、地元主催者の自主的な公演活動を支援する「公共施設等への演奏家派遣」について、以下の4カ所で実施した。

なお、コロナ禍の影響により計画していた2件が中止（令和3年度に実施予定）となった。

派遣演奏家	開催日	ホール名	入場者数
大谷 康子	令和2年 9月19日	窪川四万十会館（高知県）	中止
よんでんアンサンブル	令和2年10月18日	美馬市地域交流センター美馬市民ホール（徳島県）	167
上野の森プラス	令和2年11月11日	土佐町小中学校体育館（高知県）	375
井上ゆかり	令和3年 1月17日	シビックセンターさくらホール（徳島県）	185
小松 玲子	令和3年 2月21日	まんのう町町民文化ホール（香川県）	中止
川井 郁子	令和3年 3月30日	愛媛県県民文化会館サブホール（愛媛県）	260

##### (2) 小中学校へのアーティスト派遣

四国内の小中学校に優れたアーティストを派遣し、音楽や美術などの芸術に親しむ機会を無料で提供し、未来のアーティストや鑑賞者を育成する「小中学校へのアーティスト派遣」について、以下の19校で計24回実施した。

	学校名	開催日	回数	アーティスト名	人数
1	東温市立東谷小	6月16日	1回	松本 彩（ハープ・ヴァイオリン）	34
2	丸亀市立城辰小	6月18日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	119
3	高知市立長浜小	6月24日	—	杉本成美（ピアノ、ヴァイオリン）	中止
4	松山市立浮穴小	9月16日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	165
5	丸亀市立城坤小	9月18日	2回	立川美香（ピアノ・トランペット）	590
6	綾川町立羽床小	9月29日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	140
7	琴平町立榎井小	10月5日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	106
8	土佐市立高岡第一小	10月6日	2回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	553
9	坂出市立府中小	10月15日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	92
10	吉野川市立上浦小	10月20日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	25
11	土佐市立宇佐小	10月29日	1回	杉本成美（ピアノ・ヴァイオリン）	172
12	高知市立鏡小	11月6日	1回	杉本成美（ピアノ・ヴァイオリン）	59
13	土佐市北原小	11月7日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	73
14	鳴門市立黒崎小	11月11日	2回	佐藤由美子（ピアノ・ヴァイオリン）	150
15	東温市立拝志小	11月13日	1回	木藤麻衣子（フルト・ヴァイオリン・ピアノ）	111
16	大豊町立おおとよ小	11月19日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	102
17	善通寺市立筆岡小	12月2日	1回	白井奈緒美（サリフォーン・チェンバロ）	215
		12月2日	1回	千田豊実（美術）	24
18	善通寺市立与北小学校	12月9日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	72
19	鳴門市立坂東小学校	12月15日	2回	山本貴子（ピアノソロ）	180
20	鳴門市立堀江北小学校	12月16日	—	山本貴子（ピアノソロ）	中止
21	高知市立高知特別支援学校	2月25日	1回	瀬戸フィル（ピアノトリオ）	76
計			24回		3058

## Ⅱ. 管理運営の概要

### 1 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

開催日	議 案
令和2年 5月28日 (通常)	第1号議案 令和元年度事業報告および決算報告について 第2号議案 令和2年度奨学援助者の選考について 第3号議案 令和2年6月定時評議員会の開催について 報告事項1 理事長および常務理事の職務執行状況について 2 第25回ふるさとコンサートの中止(3年度への延期)について
令和2年 7月17日 (臨時)	第1号議案 令和2年度顕彰者の選考について 第2号議案 令和3年度公共施設等への派遣演奏家の追加について
令和2年12月2日 (通常)	第1号議案 令和3年度 奨学援助推薦依頼校の選考について 第2号議案 令和3年度 公共施設等への演奏家の派遣について 第3号議案 令和3年度 小中学校へのアーティスト派遣について 第4号議案 基本財産の運用見直しおよび財産管理運用規程の改正について 報告事項 理事長および常務理事の職務執行状況について
令和3年3月17日 (通常)	第1号議案 令和3年度 事業計画および予算ならびに資金調達・設備投資について 第2号議案 令和3年度 主催事業について 第3号議案 特定費用準備資金の取崩し時期の変更について 報告事項1 令和3年度 公共施設等への演奏家の派遣について 2 令和3年度 小中学校へのアーティスト派遣について 3 基本財産の運用見直しの結果について

#### (2) 評議員会

開催日	議 案
令和2年 6月17日 (定時)	第1号議案 令和元年度事業報告および決算報告について

## 2 役員等に関する事項

### (1) 理事・監事・評議員の氏名等

役 職	氏 名	常勤・非常勤
理事長（代表理事）	千 葉 昭	非常勤
常務理事	大 倉 朗 人	常 勤
理 事	奥 谷 博	非常勤
	烏 谷 照 雄	非常勤
	河 崎 良 行	非常勤
	北 泰 子	非常勤
	潮 江 宏 三	非常勤
	多田羅 迪 夫	非常勤
	都 村 慶 子	非常勤
	天 雲 俊 夫	非常勤

監 事	勝 丸 千 晶	非常勤
	西 崎 明 文	非常勤

評 議 員	池 川 敏 幸	非常勤
	池 添 正	非常勤
	石 川 充 宏	非常勤
	上 田 収 穂	非常勤
	奥 定 一 孝	非常勤
	喜多條 高 資	非常勤
	佐 竹 一 郎	非常勤
	十 亀 真 一	非常勤
	宮 脇 茂 樹	非常勤

## 3. その他

事業報告を補足する重要な事項はないため、附属明細書の作成は省略している。